



看護大学生と協働した防災活動 「災害から命を守る健康づくり」



福井県三方郡美浜町郷市区自主防災会
防災リーダー 井村秀雄

1 はじめに

郷市区自主防災会は、平成23年1月に区民総意のもと設立しました。

区民全員が会員となり、役員として活動するグループを高齢者から青年に至るまで年代層ごとに10部に区分して任務を分担しています。

郷市区自主防災会の特徴は、区民の多くを占める高齢者について、どちらかといえば助られる側のイメージが強い中、助ける側として元気に活動していることです。

高齢者は長年地区に住み慣れており区内の土地柄や区民のつながりなどに熟知していることから「情報部」と称した活動部を編成し、常に防災に関する情報収集を行うとともに、火災発生時には初期消火などの初動対応、災害時の避難誘導など活動の中核を担っており、高齢者も防災活動の役割を担うことで“生きがい”づくりにも寄与しています。

2 年間を通じての活動

年間を通しての活動は、区行事と合わせた活動として3月の区民総出の作業の日には必ず消火栓取り扱い訓練を実施し、5月の区民レクリエーション大会（運動会）には防災種目として玉入れの玉を水に見立てた「消火バケツリレー」や毛布と竹竿を使用した応急担架を作ってダミー人形を搬送する「応急担架リレー」「防災〇×クイズ」等を行い、楽しみながら防災意識の向上と技術の習得を図っています。

9月は防災月間として毎年防災研修や防災訓練などを行っています。特に3年に一度は区総合防災訓練を実施しており、区内全域で大雨、洪水、土砂崩れ、暴風、地震、火災などあらゆる災害が発生したことを想定し、災害対策本部を設置するとともに、区内各地で避難、誘導、通報訓練や水防、消火、救急、救出、弱者援護訓練など区民総ぐるみで大規模な訓練を繰り返し実施しています。



総合防災訓練の家屋倒壊現場救出訓練

また過去に3回、防災研修とウォーキングによる健康づくりを兼ねた「防災ウォーキング」を開催しており、内容は、区内のすべての消火栓ホース格納箱を巡る約4キロのコースをウォーキングしながら、コース途中にある防災施設を見学してその場で防災クイズに答え、トランシーバーによる無線中継訓練を行い、途中に設けた炊出所において水分補給と非常食の試食を行い、ウォーキング終了後には救急救命士によるAEDなどの救急講習を受講するという盛沢山な内容です。

3 災害と健康

さて令和元年は、敦賀市立看護大学の学生とともに防災活動を行いました。

「災害から命を守る 健康づくり」をテーマに、災害に対処するには健康が不可欠であるという正に看護大学ならではの災害と健康を結び付けた新しい視点の取り組みで、郷市区自主防災会との協働プロジェクトが展開されました。

☆災害時に避難をするにも健康でなければスムーズに動けない。

☆普段健康でなければ防災活動にも参加し辛い。

まず初めに看護学生が郷市区内の各戸を訪問して防災意識や健康状態の調査と防災に関するアンケートを行うとともに、訪問経路において自分たちの目で見た郷市区内の危険個所や気になる事象を調査して地図に記入しました。



看護学生の防災訪問



区民との意見交換会

その後、日を改めて区民と一緒に会してアンケート結果や地図に記した危険調査の結果を報告し、防災と健康について区民との意見交換会を実施しました。

さらに恒例の区総合防災訓練にも「救護部」の一員として参加。火災現場におけるバケツリレーや火傷者の救護、救出現場や救護所における救護活動を通して区民への指導を行い、自主防災会としても非常に有意義な訓練となりました。



看護学生の救護訓練

4 おわりに

近年、災害の様相は著しく変化しており、また、いつどのような災害が発生するかもわからない今日、これに対処するため、自主防災会として「災害から命を守る 健康づくり」も踏まえ、今後とも区民、役員一丸となって研修に訓練に研鑽しなければならないと改めて感じております。

